

担当者殿

## IT ポートフォリオ評価実施のお願い

庁内の IT 業務のガバナンスを向上させるために、本年度予算審査から IT ポートフォリオを使った評価を追加することとします。各担当課では、これまでの予算要求調書に加えて、事業の妥当性評価のチェック表と IT ポートフォリオのためのチェック表を提出してください。なお、この表は予算要求時に使うだけでなく、設計終了時、サービス開始時などに再提出を求め、事業の再確認を行いますので留意下さい。

### 作業の手順

- ① 事業の妥当性評価を記入する。

	質問	回答
1	政策の目的が、国民や社会のニーズに照らして妥当である。また上位の目的に対して妥当である。	0: はい 1: いいえ
2	行政関与の在り方から見て、行政が担う必要がある。	0: はい 1: いいえ
3	投入された資源量に見合った効果が得られると考えられる。または実際に得られている。	0: はい 1: いいえ
4	必要な効果がより少ない資源量で得られるものは他にはない。	0: はい 1: いいえ
5	同一の資源量でより大きな効果が得られるものは他にはない。	0: はい 1: いいえ
6	政策の実施により、期待される効果が得られる。または実際に得られている。	0: はい 1: いいえ
7	政策の目的に照らして、政策の効果の受益や費用の負担が公平に分配されることが考えられる、または実際に配分されている。	0: はい 1: いいえ
8	他の政策よりも優先的に実施すべきである。	0: はい 1: いいえ

- ② IT ポートフォリオの選択肢にチェックする。

# IT ポートフォリオ依頼の実施例

ITポートフォリオ・評価表  
※黄色部分のみ記入

日付	
部	
課	

システム名	
-------	--

戦略適合性に関する質問項目

観点	質問項目	回答欄	評価要素
有効性(10点)	コスト削減効果		5 直接的な人員削減に結びつく 4 業務時間の削減が50%以上見込まれる 3 業務時間の削減が25%以上見込まれる 0 業務削減効果はない
	スピード向上効果		5 業務に要する処理時間が日単位で短縮される 4 業務に要する処理時間が時間単位で短縮される 3 業務に要する処理時間が分単位で短縮される 0 業務に関する処理時間は変わらない
必然性(10点) (戦略性)	実施根拠施策		5 国レベルの施策に基づく 4 広域連携レベルの施策に基づく 3 庁レベルの施策に基づく 2 部局レベルの施策に基づく 1 上記以外のレベルの施策に基づく
	代替可否		5 当該方式以外に実施しうる方法がない 3 代替手段も存在するが、当該方式が最善 0 代替案の検討を行っていない
影響範囲(10点)	業務対象		5 全ての住民または企業のための業務 4 特定の住民または企業のための業務 3 複数の行政機関を対象とした業務 2 庁内全体もしくは複数部局を対象とした業務 1 部局内の業務
	システム利用対象		5 住民や企業が直接利用するシステム 4 複数の行政機関が横断的に利用するシステム 3 庁内全体もしくは複数部局で利用するシステム 2 特定の部局で利用するシステム 1 特定の課で利用するシステム
利用者視点(10点)	満足度		5 住民または企業と職員の双方の満足度向上につながる 4 住民または企業の満足度向上につながる 3 職員の満足度向上につながる 0 満足度は従来どおり
	高度化		5 業務内容の高度化に資するシステム(意思決定支援等) 3 業務内容の高度化に資するシステム(事例・データ参照等) 0 従来どおり
合計		0	

図 1 戦略性評価シート

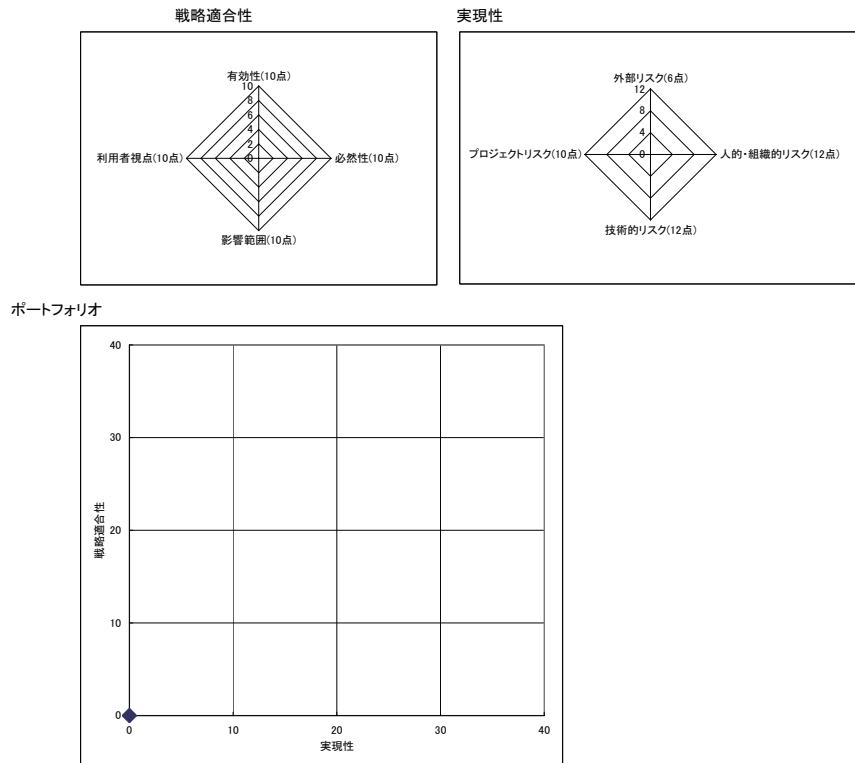
## 実現性に関する質問項目

観点	評価要素	回答
外部リスク(6点)	法改正が予想される	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	上位の政策や政府方針の変更が予想される	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	国際情勢や世論、環境に大きな変化が予想される	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
人的・組織的リスク(12点)	システム企画・開発体制について、複数の部局の関係者が存在する	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	システム運用について、複数の部局の関係者が存在する	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	利害関係者を取りまとめるPMOが存在しない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	事業に影響を及ぼす組織変更・人事異動が予定されている	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	利用にあたって、研修が計画されていない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	利用にあたって、サポート窓口が存在しない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
技術的リスク(12点)	民間事例も含めて採用技術の利用実績がない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	庁内での採用技術の利用実績がない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	採用技術はベンダーの独自技術である	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	他システムとのインターフェースが存在する	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	サポート終了等の技術の陳腐化が予想される	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ 1:現時点ではない
	セキュリティ要件が定まっていない	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
プロジェクトリスク(10点)	納期を遅延される要因がある	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ 1:現時点ではない
	予算を超過させる要因がある	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ 1:現時点ではない
	品質を低下させる要因がある	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ 1:現時点ではない
	要件が完全に固まっている	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
	他のプロジェクトと依存関係がある	<input type="text"/> 0:はい 2:いいえ
合計		<input type="text"/> 0

図 2 実現性評価シート

③ ポートフォリオのバランスを確認します。

## IT ポートフォリオ依頼の実施例



- ④ 結果を登録します。

### 調査結果の活用

予算ヒアリング時に、ヒアリング資料として活用します。但し、この IT ポートフォリオのみで優先順位付けをすることはなく、あくまでもヒアリングのポイントと指定値付けています。